PAWEES と PWE の現況と課題
Status and Prospect of PAWEES and PWE

○松野　裕*
Yutaka MATSUNO*

１．背景

国際水田・水環境工学会(International Society of Paddy and Water Environment Engineering: 通称 PAWEES)は 2003 年の設立以来、農業農村工学会、韓国農業工学会、台湾農業工学会の支援のもと、水田稲作農業を核とした水環境分野における科学・技術振興を主にアジアにおいて推し進めてきた．PAWEES が母体となって発刊する国際誌 Paddy and Water Environment (PWE)は、2009 年にインパクトファクター（IF）の付くジャーナルとして SCIE（ISI データベース）に収録された．PAWEES 会長は 3 カ国が 2 年ごとに持ち回り、昨年までは渡邉 紹裕（京都大学）氏が会長であったが、今年からは Jin Soo KIM（韓国，国立忠北大学）氏が会長となっている．PAWEES 事務局は農業農村工学会内に 2011 年以降固定されている．

PWE 誌の刊行以外に、PAWEES が担う主要な機能に国際研究集会の開催がある．また、国際研究集会の開催期間中に、PAWEES 国際賞、PWE 論文賞、PWE レビュアー賞の授与式が開催されている．国際研究集会は毎年 1 回、韓国農業工学会、台湾農業工学会、農業農村工学会が持ち回りで主催者となっているが、近年は農業農村工学会が主催する年はコアメンバー国以外で開催してきた（表 1 参照）.

表 1 PAWEES 研究集会開催国と都市

年	国	都市	年	国	都市
2003	日本	京都	2011	台湾	台北
2004	韓国	安山	2012	タイ	ノンタブリ
2005	日本	京都	2013	韓国	晋州
2005	台湾	台北	2014	台湾	高雄
2006	日本	宇都宮	2015	マレーシア	ｸｱﾗﾙﾝﾌﾟｰﾙ
2007	韓国	ソウル	2016	韓国	太田
2008	台湾	台北	2017	台湾	台中
2009	インドネシア	ボゴール	2018	日本	奈良
2010	韓国	済州	2019	韓国	

*PAWEES 事務局長: Secretary General of PAWEES，近畿大学農学部: School of Agriculture, Kindai University
キーワード：PAWEES，水田・水環境工学

２．2016～2017 年の活動

2016 年 10 月 20～21 において韓国太田市で PAWEES 研究集会が開催された．ここでは､「水-エネルギー-食料のネクサスでの持続的水田水管理」をメインテーマとし､「水と食料の関係と農業水管理」､「より良い水田水管理のためのツールと分析」､「水田水管理と気候変動」などのサブテーマについての研究発表がなされた．加えて、ICID アジア地域ワーキンググループとのワークショップの共催も実施された．日本，韓国，台湾の主要参加国に加えインドネシアやタイなどからの参加者があった．発表は，口頭が 35 件うち日本からは 13 件，ポスター24 件うち日本からは 14 件と、近年では比較的小規模な集会であった．

2017 年は 11 月 9～10 日に台湾台中において研究集会が開催される．「持続的な水と環境の管理」をメインテーマとし、「持続的水利用と生態学的に持続的な開発」、「アジアにおける水と地域社会開発」､「持続的水田農業」､「統合的流域管理」､「干ばつと洪水リスク管理」をサブテーマとしている．

３．今後の展望

2018 年には奈良で､INWEPF と共催し奈良県の全面的協力のもと研究集会を開催する．久しく日本では開催されてこなかったが、関係各国からの要望もあり、奈良で 12 年ぶりに開催することとなった．日本の PAWEES 関係各位には、開催準備などに協力していただく計画である．

近年の PAWEES の活動は、PWE と共に進展が見られ認知度もあがってきているが、今後はさらなる飛躍を期待したい．さらに、PAWEES はその対象とする学術分野での成果を研究者間だけではなく､技術者や行政に向けて広く共有していく行動計画を策定することが近年求められてきている．それを踏まえれば、PAWEES は大学や研究機関の研究者のみならず今後はメンバー国の行政機関や国際援助機関、NGO などとの実体のある連携を模索していくことが必要であろう．事実､2016 年には ICID, 2018 年の研究集会では INWEPF と協力していくように、活動に広がりが出来てきている．

一方、アジア地域、さらにはグローバル規模で PAWEES の活動の場を広げて行くには不可欠な財政的基盤を確立することには常に困難が付きまとっている．PWE においても､投稿論文数が増加している状況でその管理体制の強化を考えた場合の財政的な負担増にどう対処して行くかの積極的な議論が必要であろう．購読者数の増加は、購読料収入のロイヤルテイ増加に直結することであり､今後も PWE の積極的な宣伝および知名度向上に務める必要があるだろう．PWE 編集委員会とも協力して、PAWEES のさらなる発展を目指していきたい．